

サステナビリティ方針

一般財団法人兵庫県学校厚生会は、国内外の環境や経済情勢等、会員や厚生会を取り巻く環境が変化するなかにあっても、会員の生活の安全と安心を提供し続けられるよう、自らの存在を絶えず問い直し、持続可能な助け合い組織の確立に向けて取り組みます。

3つの重点課題

持続可能な助け合い組織の確立に向け、次の3点をサステナビリティ重点課題として掲げ、取り組みます。

- ① 会員や地方公共団体を含む社会からの信頼に応える組織運営
環境をはじめとした社会課題・社会変化への対応と健全経営の推進
- ② 会員からの信頼に応える事業推進
相互扶助の理念に基づく事業や社会貢献に通じる事業の継続と推進
- ③ 職員がいきいきと活躍できる組織基盤
誰もが健康でいきいきと働ける環境づくりと健康経営の実践

国連の持続可能な開発目標（SDGs）への取り組み

設立理念である「相互扶助」の精神を軸として、会員をはじめとしたステークホルダー(注1)の皆さまとともに、地球環境と社会の持続可能性を守りながら、安全と安心を提供できる事業の継続・推進に取り組みます。また、これらの活動により持続可能な社会の実現に向け、SDGs(注2)の達成に貢献します。

注1：ステークホルダー（Stakeholder）とは

企業経営や組織運営における利害関係者のことをいい、株主・経営者・従業員・顧客・取引先はもちろん、金融機関や競合企業、地域社会や行政機関等を含みます。









注2：SDGs（持続可能な開発目標）とは

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ(計画)」に記載された、2030年までに持続可能でより良い世界をめざす国際目標です。

社会が抱える問題を解決し世界全体で明るい未来をつくるための17のゴール（グローバル目標）と169のターゲット（達成基準）で構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、わが国としても積極的に取り組んでいます。

兵庫県学校厚生会のSDGsへの取組み






会員や地方公共団体を含む社会からの信頼に応える組織運営

取組みと関連する主なSDGs	取組方法等
<p>環境負荷の軽減取組みの実践</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ●用紙の再利用等による廃棄物削減 ●電気・ガソリン・用紙の削減取組の継続的強化
<p>透明性と実効性が高いコーポレートガバナンスの実践</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ●会計監査人、監事の監査機能、理事会の監督機能の継続的強化 ●公平、正確、速やかな情報開示の実践 ●反社会勢力との関係を一切遮断
<p>持続可能な財政基盤の構築と資産運用における持続可能な社会への貢献</p>    	<ul style="list-style-type: none"> ●SDGs推進の達成に向けて活動している企業などを対象・参照とする有価証券等での資産運用(ESG運用) <p>※ESG運用とは、E=環境(Environment)、S=社会(Social)、G=ガバナンス(Governance)を考慮した運用のことで、運用の判断基準として、財務状況だけではなくサステナビリティへの取組割合を加えること</p>

会員からの信頼に応える事業推進

厚生会事業と関連する主なSDGs	事業・取組内容等
<p>給付事業・福祉事業</p> <p>理念である相互扶助の精神の具現化</p>    	<ul style="list-style-type: none"> ●「元気で長生き」をささえる給付事業の継続実施(医療費の経済的負担や休業・休暇取得時の収入減等を軽減する給付など) ●性別や国籍等に関係なく事象のみを要件とした給付事業と福祉事業
<p>信用共済事業</p> <p>積極財産はもちろん消極財産も相互扶助の精神で</p>    	<ul style="list-style-type: none"> ●いつまでも自分らしく暮らすための財産形成をお手伝いする、預金事業の安定運営 ●ライフステージやライフプランに応じた貸付プランの継続提供 ●万一の際等に生活をサポートする特別貸付の継続取扱い
<p>保険事業</p> <p>ご自身とご家族を守るための頼れる手段をご提案</p>   	<ul style="list-style-type: none"> ●安全運転講習会の継続実施 ●“事故を起こさない”をめざしたテレマティクス自動車保険の取扱い ●自然災害の被害予測情報提供やハザードマップによる事前サポートと、万に備える火災保険・地震保険等の取扱い
<p>公益事業・保険事業・教育用品事業</p> <p>明日を担う子どもたちのために</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ●公益事業である「本をよむなかよし会」「自然を楽しむ会」「手づくりを楽しむ会」の継続実施 ●修学旅行やトライやる・ウィークをはじめとした学校行事中の児童・生徒のケガや賠償事故等に対応する体験活動保険制度の継続取扱い ●子どもたちに良書をあっせんする児童図書取扱い
<p>生活用品事業</p> <p>安全・安心とともに消費生活での社会貢献を</p>    	<ul style="list-style-type: none"> ●フェアトレード、オーガニック、地産地消等、エシカル消費につながる商品の取扱いと普及活動 ●安全＆安心を基本とした商品・サービスの提供 ●厚生会ハウジングで住宅取得を応援 ●フードロス削減の推進

職員がいいきと活躍できる組織基盤

取組みと関連する主なSDGs	取組方法等
<p>ダイバーシティ & インクルージョンの推進</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ●多様性と多様な価値観の尊重 ●性別・国籍・障がいの有無等を問わず職員等が活躍できる、職場環境の整備とマネジメント力の向上 ●ライフサイクルに合わせた働き方ができる職場環境の整備
<p>自ら学び自ら考え、チャレンジし、成長し続けることができる、職員の育成</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ●働きやすい環境、働きがいを実感し成長していく機会の提供 ●ICT活用等による働き方改革の推進 ●プロフェッショナリズムの浸透による専門性強化の推進
<p>健康経営の実践</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員が心身の健康を保持増進できる、健康や安全に配慮した組織(職場)づくり ●心身不調を未然防止する取組みの強化